



西会津中学校 学校だより

令和3年4月28日 第2号
発行者 校長 佐藤 崇史

雄 飛

教育目標 未来の可能性を創造していく生徒

自主

自律

敬愛

健康

予想や想像を超える「未来」で必要な力とは

令和3年度がスタートして3週間。授業、部活動など、生徒たちはそれぞれに順調なスタートを切れています。しかし、日本全体に目を向けてみると、新型コロナウイルス感染症の第4波が来ているといわれ、緊急事態宣言が出された都道府県もあります。「令和」を迎えた時、このような事態になることを予想していた人がどれほどいたでしょうか。まさに、これからの未来は、私たちの予想や想像を超える未来だと思われれます。

予想を超える未来ということ考えると、ロボットや人工知能が進化することで、将来、なくなってしまう仕事があるといわれています。ですから、なくならない仕事を用心深く選ばないといけないという人もいます。でも、予想できないということから考えると、新しく生まれる仕事もあるはずで、今のわたしたちは、その仕事がどんな名前かも、どんなことをする仕事かも、知らないだけかもしれません。

学校では生徒たちが将来の夢や目標を作文にして発表することがありますが、きっと今ある仕事から「いいな」と思う仕事を選んでいていると思います。しかし、10年後、20年後には、今はない仕事がたくさんあり、想像もしなかった仕事で力を発揮しているかもしれません。あるいは、例えば江戸時代から続く変わることのない仕事に、楽しんで取り組んでいるかもしれません。

また、今ある仕事でも「働き方」が変わっていることも考えられます。先生という仕事は、ロボット技術や人工知能が進化しても残るだろうと言われてはいますが、生徒に教えるということは同じでも、未来の教室はずいぶん変わっていると思います。私が先生になったときには、プロジェクターや電子黒板は学校にありませんでした。メールもLINEもありませんでした。

未来の教室はどう変わっているでしょう。ノートと鉛筆は道具として残っているのでしょうか。教科書や参考書はデジタル化され、タブレットかノートパソコンだけを持って行けばよくなっているかもしれません。きっとまだ見たことのない道具も使いながら勉強するのでしょう。

技術が今以上に進化しているはずの未来で、人はどんな生活をしているのか、誰にもわかりません。だからこそ、生徒たちは「未知の課題」に向き合う力を身に付けることが大切だと思います。「未知の課題」とは、今まで見たことのない問題です。それを解決するには決まった答えを正確に当てる力は役に立ちません。今持っている知識や考える力を全部使って、何とか解決する方法を見つけていく、答えのない問いに立ち向かう力が大切になります。

その力は、まさに西会津中の教育目標「未来の可能性を創造していく」ことです。西中生には、答えのない課題にも挑戦し、納得解を生み出す力を、さまざまな活動を通して身に付けてほしいです。「未来の可能性」を自ら「創造する」ために。

ふくしま学力調査を実施しました

21日(水)に「ふくしま学力調査」を実施しました。「ふくしま学力調査」では、問題の難易度を考慮に入れて学力を測定します。

つまり、「どれくらい難しい問題に正答できたか」という視点を加えることで、生徒の学力の伸びを示すことができるようになっています。 「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点を大切に、何が学力を伸ばすのかについてデータに基づいた分析をしながら、今後の指導に生かしていきます。

この調査の国語の内容を見ると、本校が取り組んでいる読解力向上、リーディングスキルの要素が入っているのが分かります。

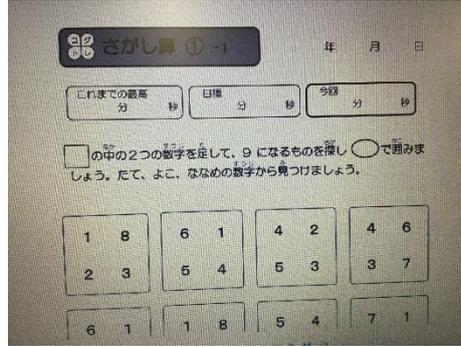
読解力は、先に述べた「未知の課題」に向き合うために必要な学力です。正確に読み取れなければ、正しく考えられません。

一人一人の学力を伸ばすために、子どもたちの読解力を向上させる取り組みを今後も重視していきます。



コグトレ ～認知機能強化トレーニング～

西会津中では、「読解力」を高める手立ての一つとして、昨年度から認知機能を強化するための「コグトレ」に取り組んでいます。認知機能とは、五感（匂う、みる、きく、触れる、味わう）を通して、情報を整理し、それを基に計画を立てて実行し、さまざまな結果をつくりだすことで、人が生きる上で必要な機能です。「コグトレ」で強化するのは、「覚える」「数える」「写す」「見つける」「想像する」といった分野になります。それらの機能を強化することが、それぞれの学習において、正しく「読む」「聞く」「書く」ことにつながります。朝の時間に集中し、継続して取り組んでいきます。「継続は力なり」です！！



ICTを活用した授業 ～「個別最適な学び」の実現に向けて～

西会津中ではICTを活用した授業にも力を入れています。西会津町から一人一人に貸与されているタブレット端末「Mouse Pro」を様々な場面で活用しながら、生徒たちが効果的に学んでいます。教職員も電子黒板やデジタル教科書を活用して、よりわかりやすく、効率よく説明することを心がけています。西会津町の絶大な支援により、西会津中にはICT機器が充実していることに心から感謝いたします。有効に活用し、生徒たちへの「個別最適な学び」の実現を目指していきます。最先端の学びに取り組むことが、生徒たちの「未来の可能性」を広げていくことにつながります。



5月の主な行事予定

5月10日(月) 全会津中体連陸上壮行会

11日(火) 歯科検診

12日(水) 13日(木) 全会津中体連陸上競技大会

16日(日) 尾野本地区リサイクル

25日(火) 校内陸上大会

27日(木) 全国学力・学習状況調査

尿検査

30日(日) 野沢地区リサイクル

GWを有意義に

29日からGW(ゴールデンウィーク)です。生徒たちには有意義な連休にしてほしいです。学校からは、外出時に

- ・マスクを着用し、新しい生活様式を心がけた生活をする
- ・行き先や帰り時間、誰と出かけるかを保護者に伝えること
- ・午前10時までは学習の時間(部活動や諸都合は例外)
- ・午後6時までに帰宅
- ・生徒のみでの友人宅への外泊をしない

などを文書でもお願いしております。ご確認の上、事故なく、楽しいGWになるようご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。

※ 4月23日(金)のPTA学年始保護者会では、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。今後とも、本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。